



さらめく風

すすんで学ぶ子ども 心ゆたかな子ども 体をきたえる子ども

ホームページ
携帯サイト →

感謝の気持ち

校長 清水 誠

「ありがとう」と言える子どもに育ってほしい・・・これは、子育て中の親にとっての一番の願いではないでしょうか。「相手の気持ちが分かる子に」、さらには「友だちにやさしい子に」という願いも、全てそこに通じているからです。では、感謝の気持ちを育てるには、どのようにしたらよいのでしょうか？人に感謝をするという感情は、放っておいて育つものではありません。子どもが小さい頃から、大人が教えるべきものであると私は考えます。どの家庭でも、人から物をもらった時には、「ありがとうって言うんだよ」と教えてきたはずです。そして園児になり、友だちからおもちゃを貸してもらった時には、「ありがとうは？」と先生から教えてもらっていました。もちろん、小学校でも発達段階に合わせて、様々な場で感謝の気持ちがもてるよう指導しています。しかし、「ありがとう」が、単に人からしてもらったり、物をもらった場合のものととらえる子にはしたくありません。日常の当たり前の中にある感謝に気づける子、さらには感謝の気持ちを行動に移せる子に育っていくことが重要です。

先日、5年生と武石移動教室に行ってきました。鷹山ファミリー牧場では、食べ物への感謝についての話を聞くことができました。毎日たくさんの牛乳を出す牛たちは、無理やり人間の手で妊娠させられた経済動物です。本来なら20年近い牛の寿命ですが、この牛たちは6~8年しか生きられないといいます。人間のために尽くし、ゆくゆく牛乳が出なくなった牛たちは、ペットフード用の肉牛として殺処分されることになります。鶏卵用のニワトリも、食肉用の豚や牛も、人間の「食べる」という行為のために多くの命が使われています。「いただきます」という言葉には、「あなたの命をいただきます」という、食材となった命への感謝が込められています。牧場での体験から、日常の当たり前の中にある感謝に気づくことができました。

また、移動教室の最終日には、いつも宿舎前の閉校式で子ども達にこのように話すようにしています。「『ありがとうございました』と言葉で伝えるだけでなく、自身の行動で示すことが大切です。それは、高学年として日々の学校生活にしっかりと取り組むことであり、それこそが3日間お世話になった方々への感謝の気持ちにつながります。」

毎年11月下旬になると、昔担任していた男の子の家族を思い出します。その子の家では、勤労感謝の日に子ども達だけでカレーライスを作ることが恒例行事となっていました。朝の会の1分間スピーチで知ったそのことを、12月の個人面談で詳しく聞いてみました。「そうなんです。毎年その日は主人と2人で外出させられて、夕方まで帰ってきちゃダメって言われるんです。」…その子を卒業させてから、下の妹も担任することになったので、4年連続で個人面談の話題が「今年のカレーの味」になりました。兄妹でケンカしながらやっとカレーができた話や、隠し味に何を入れたかを当てるクイズを出された話など、聞いているだけで楽しい家庭の様子が目に浮かんできました。感謝の気持ちは、心が温まる安らぎの時間をもたらします。

子ども達の

4年 聴導犬出前授業（10/29）

総合的な学習の時間「考えよう、わたしたちの町のユニバーサルデザイン」の学習で、「すべての人」についての考え方を深めているところです。この日は、聴覚障害をもつ松本江理さんと聴導犬チャンプ君をお招きしました。チャンプ君がタイマーの音を知らせる場面では、「松本さん探しゲーム」をする感覚でお仕事をしていると教えてもらいました。また、社会の中で身体障害者補助犬法の理解が進まず、補助犬との入店を断られるような事態もあると知りました。たくさんの方が関心をもち、社会が変わらなければという感想をもった子がいました。

さらに、11月17日（月）には、視覚障害をもつ原口淳先生と練馬手をつなぐ親の会の方をお招きして出前授業を実施しました。「どうすれば使いやすくなるだろうと想像することからユニバーサルデザインが始まる」という大切な考え方を学びました。



1年 生活科見学（10/30）

板橋区にある「板橋こども動物園」へ、生活科見学に行きました。1年生にとって、初めて学校から遠くに出かける一大イベントでした。電車に乘ることや動物たちと触れ合うことをとても楽しみにしていたようです。駅まで歩く道や電車の中では、公共の場であるという意識をもち、楽しくおしゃべりしながらも互いに声を掛け合って注意している様子もありました。長い道のりでしたが、マナーや交通ルールを守っていて立派でした。

板橋こども動物園では、「モルモット」「やぎ」「羊」「ポニー」と触れ合うことができ、他にも「馬」「亀」「うさぎ」なども見学することができます。みんな少し怖がりながらも、「かわいい！」「ふわふわだ。」「あったかい！」などと楽しみながら学習していました。近い距離で動物と触れ合うことができ、とても貴重な体験になりました。お弁当を食べてからは、公園の遊具を使ったり鬼ごっこをしたりして存分に遊びました。たくさん歩いて、たくさん学んで、たくさん楽しんだ良い1日になりました。



1年 幼保小交流会（10/31、11/4）

10月31日は旭幼稚園・旭町第二保育園、11月4日は旭町保育園・さくらさくみらい旭町保育園・さくらさくみらい田柄保育園の年長さん達と、交流会を行いました。

クイズの実行委員や司会になった子たちは、休み時間に集まって内容を考えたり練習をしたりして、準備をしてきました。当日は自分たちで会の司会・進行を行うことができました。交流会で取り組んだのは、運動会で踊った「旭町カーニバル!!」と「旭町小学校クイズ」、「サクラ草のプレゼント」です。園児のみんなが喜んでくれて、1年生の子ども達はとても嬉しそうにしていました。

その後、校長先生が校舎内や校庭を案内しました。年長さん達にとって、小学生になることが楽しみな活動になっていたら嬉しいです。3学期に、もう一度それぞれの園と交流会を行う予定です。



学校生活



2年 町たんけん (11/5)

1学期に引き続き、3回目の町たんけんに行きました。「この間の町たんけんでは、お店の場所は分かったけれど、前を通りだけだった。」「中も見てみたい。」「働いている人に話を聞きたい。」との思いから、今回の町たんけんでは施設の方にインタビューを行うことにしました。

旭町駐在所、妙安寺、旭町保育園、旭幼稚園、北地区区民館、林商店、そして、たくさんの保護者の方々にご協力をいただきました。子ども達が事前に考えた質問に、各施設の方が丁寧に答えてくださいました。

懸命にメモを取りながら、話を聞きました。「初めて知ったことばかりだった！」と目を輝かせていました。自分達の住む町に一層親しみをもつことができました。新たに知ったことや気付いたことを、グループごとに模造紙にまとめました。



5年 武石移動教室(11/10~12)

高学年になって初めての宿泊学習に行ってきました。事前の準備を子ども達が中心になって進め、「自分達で運営する移動教室」という意識をもって臨みました。

松井農園では、りんご狩り・食べ比べ体験をしました。品種ごとの味の違いを楽しみながら、心を込めて育てられたりんごをいただきました。鷹山ファミリー牧場では、乳しぼりに挑戦しました。屋内バーベキューでは、牧場で育った牛肉をいただきました。動物の命をいただいて生活していることへの実感が深りました。黒耀石体験ミュージアムでは、黒耀石を削って自分だけのキーホルダーが完成しました。群馬県立自然史博物館では、グループごとに館内を見学し、地球の歴史について学びを深めました。声を掛け合って協力して館内を回りました。

3日間を通して、仲間と共にやり遂げる達成感を味わうことができました。身に付けた自主性を今後に生かしていきたいと思います。



4年 練馬大根出前授業 (11/20)

練馬大根の歴史や農業についてお話をもらいました。江戸東京野菜とは、江戸時代から東京都内で栽培されていた伝統野菜で、練馬大根もその一種です。講師の渡戸さんをはじめ、農家の方々が今も大切に受け継ぎできたことを知り、これまでの努力や歴史の長さに子ども達は驚いていました。練馬大根は、戦時中の保存食として東京の各地で食べられていたことで有名になったそうです。また、練馬大根以外にも様々な江戸東京野菜があり、名前に地名が入っていることを学びました。地域に根差した食文化に関心を高めることができました。

野菜を育てていると、様々な種類の害虫が葉につくことも教えてくださいました。テントウ虫は害虫を食べてくれる益虫だそうです。子ども達は、害虫は知っていたけれど益虫がいるのは知らなかつたと驚いていました。農家の方々の苦労や努力を知り、野菜を好き嫌いせずに食べたいと感想をもつことができました。練馬大根のお話を聞いて、12月に行う練馬大根の収穫がより一層楽しみになったようです。



<12月の行事予定>

安全指導「安全に冬の生活をしよう」

日	曜	相	行 事
1	月		全 安全指導 避難訓練
2	火		読 6年連合音楽鑑賞教室
3	水		学 5校時委員会活動 3年消防署・警察署見学
4	木	◇	学 展覧会児童鑑賞日 保護者鑑賞（午後） たてわり班全校制作
5	金	◆	読 展覧会児童鑑賞日 保護者鑑賞（午後）
6	土		読 展覧会保護者鑑賞日 学校評議員会 子どもガイド（5、6年）
7	日		
8	月		
9	火		読 4時間授業 個人面談
10	水		学 水曜日時程5時間授業 個人面談 たてわり班遊び
11	木	◇	学 4時間授業 個人面談 5年社会科見学
12	金		読 水曜日時程5時間授業 個人面談 3年しょう油博士出前授業
13	土		
14	日		
15	月	◆	全 4時間授業 個人面談
16	火		体 たてわり給食 地域未来塾 個人面談予備日
17	水		学 6校時クラブ活動 マラソン週間（～23日） 科学クラブ ディレクトフォース出前授業
18	木	◇	音
19	金	◆	図書ボランティア読み聞かせ 全学年4時間（会議のため）
20	土		
21	日		
22	月	◆	全 水曜日時程 6校時クラブ活動 科学クラブ 中里郷土の森出前授業
23	火		読 笑顔と学びの体験プロジェクト
24	水		学
25	木	◇	終業式 全学年4時間授業 大掃除 給食終
26	金		冬季休業日始 機械警備期間 12/29～1/3
27	土		全 全校朝会 音楽朝会 児童集会 体育朝会 学朝學習 読 朝読書
28	日		◆心のふれあい相談員◇：スクールカウンセラー
29	月		*行事予定は変更になる場合があります。学年だより等でご確認ください。
30	月		
31	火		

【給食着の運用について】

給食当番では、共用の「白衣」を使用することを基本としていますが、柔軟剤の香りや衛生面での不安、その他の事情がある場合には、ご家庭で用意した「エプロン等」を使用することが可能です。希望する方は担任までご連絡ください。また、香りによって体調に影響を受ける児童もいますので、給食着をご家庭で洗濯する際には、香りの強い柔軟剤の使用を控えていただきますようにご配慮をお願いいたします。

笑顔と学びの体験プロジェクト

今年度は、町から町へと幸せのタネをまく旅に出た愉快なご夫婦「笑太夢（ショウタイム）マジック」が来校します。題して、【魔法の冒険「いつも心に花束を」マジックマイム劇】です。劇中の「マジック」と「パントマイム」で笑いと夢と希望のタネをまいていただく予定です。

この事業はコロナ禍の際に、運動会や移動教室など、多くの行事を経験できなかった子ども達を笑顔にしようと、東京都が予算化した事業です。好評なため継続実施しているようです。

子ども達にとって楽しいひと時になればと願っています。

日 時 令和7年12月23日（火）
3、4校時

マラソン週間

マラソン週間では、中休みや体育の時間に自分のペースで校庭を走り、持久力を高めています。マラソンを通じて、あきらめずに継続する力や目標に向かって努力する心も育んでいきたいと思います。

子ども達の安全に十分注意して行ないます。ご家庭で健康観察をしてから登校されるようお願いいたします。

12月の生活目標

<学校をすみずみまできれいにしよう>

本校では主に、たてわり班（異学年グループ）で清掃活動を行っています。6年生が用具の使い方や流れをメンバーに説明しながら、1年生から6年生までが協力して取り組んでいます。

自分や友達が使った場所をみんなできれいにし、次の人に気持ちよく使ってもらうことの良さを味わわせながら清掃活動に取り組ませていきます。

保護者アンケートのお願い

本校の教育活動についてのアンケートを行います。

配信日 12/8（月）～切日 12/21（日）
Sigfyで配信しますので、URLをクリックし、formsにてご回答をお願いいたします。
用紙をご希望の方はご連絡ください。